令和４年度（第76回）芭蕉祭

芭蕉翁の功績を称え遺徳を偲（しの）ぶ令和４年度（第76回）芭蕉祭を、10月12日㈬、上野公園を中心に行いました。
芭蕉翁銅像、文学碑への献花・献菓のあと、上野公園内の俳聖殿前で式典を行い、献詠俳句特選句の披講、懸額除幕、各受賞者を表彰しました。
各部門の特選・最優秀作品と、一般の部で入選した市内の皆さんの句を紹介します。（選者は五十音順に記載しています。）

一般の部　特選

▼稲畑廣太郎　選
名水の音を馳走に夏座敷　西宮市　小林　志乃
水無月の森のせせらぎすくひをり　前橋市　新木ひろみ

▼井上弘美　選
時雨忌の暗き灯の寄る海の町　柏崎市　水野　宗子
鞆鍛冶の船釘太き油照　文京区　市村　和湖

▼宇多喜代子　選
小春日の真綿のやうな睡魔かな　吉川市　人見　正
木の水の石の声聴く終戦日　大垣市　大西　誠一

▼小川軽舟　選
全身で急ぐ毛虫の先に空　四日市市　佐藤　径
古池の闇を揺がす牛蛙　伊賀市　山中　洋子

▼小澤實　選
冬空の青いちまいを遺書とする　桜井市　中　佐代美
ジョギングの男半裸やTシャツ提げ　品川区　川又憲次郎

▼櫂未知子　選
まぶしさや初夏の風真帆にうけ　大田区　佐瀬はま代
筆文字の封書ふつくら酔芙蓉　板橋区　笠原みわ子

▼黒田杏子　選
芭蕉忌の人にやさしくなる心　宇都宮市　半田　真理
古池や蛙飼はずに放しけり　千代田区　マルティーナ・ディエゴ

▼坂口緑志　選
緑さす帷に透けて神衣織る　伊賀市　島井　節
裏盆の峡に木霊す盆太鼓　三重県　湊　富美子

▼西村和子　選
雲の峰歩き続ける翁像　堺市　合田マサル
大阪のをんな足早近松忌　京田辺市　加藤　草児

▼長谷川櫂　選
老ひはさて病来ぬ間の白団扇　横浜市　越智　淳子
母の日や兵士一人に母ひとり　岸和田市　青木　洋子

▼星野椿　選
水鳥を侍らせ虚子の湖中句碑　伊賀市　森中　幸枝
滴りの一山寂と奥の院　西尾市　蓮沼たけし

▼堀本裕樹　選
解体の梁に父の字身に入みぬ　勝山市　中村佐代子
しばらくはものみな光る夕立あと　伊勢市　久世　伸子

▼正木ゆう子　選
一旦は零れ地上を巣立ちけり　伊賀市　久保　善信
捩花や吾子に逢ひたし昇りたし　延岡市　河野　正

▼三村純也　選
起きぬけに海を見行く帰省の子　尾鷲市　湯浅　桃代
闇深く河鹿聞きゐる外湯かな　久喜市　梅田ひろし

▼宮坂静生　選
おはぐろの瑠璃寂光を放ちけり　亀山市　岡田　良子
早苗田に影を置きゆく夜汽車かな　岡谷市　宮澤　羅夢

▼宮田正和　選
朝の日へけふの色解く仏桑花　四日市市　佐藤　径
螢生る瀬音の闇を広げつつ　伊賀市　岡島　千秋

英語俳句の部　特選

▼河原地英武　選

The swan family
having stayed longer this spring...
return to Russia（ためらひつ白鳥の群ロシアへと）
David McMurray／Japan

walking on and on
in the distance the summit
motionless（ひた歩く遠くの峰は身じろがず）
Marcellin Dallaire-Beaumont／Belgium

連句　特選

▼小池正博　西田青沙　森川敬三　共選

半歌仙『頓て死ぬ』の巻
徳島県　徳島県連句協会　梅村　光明　捌（さばき）

頓て死ぬけしきは見えず蝉の声　芭蕉翁
開き切つたる古池の蓮　西條　裕子
愛くるしマトリョーシカを手遊びに　梅村　光明
チーズフォンデュの卓の賑はひ　二橋　満璃
もの想ひひとり耽ければ傾く月　裕子
烽火代はりの秋刀魚焼く煙　光明
牧閉ざす馬柵遠くまでなだらかに　満璃
逢へぬ日続き募るいとしさ　裕子
女子会のすぐ盛上がる恋懺悔　光明
ぐうたら亭主まづは槍玉　満璃
議員席スマホ居眠りここかしこ　裕子
熱きおでんのコント大受け　光明
月翳り名物和尚しはぶかん　満璃
酒場へ降りる螺旋階段　裕子
やり投げの記録を伸ばし初メダル　光明
海の青さに染まる麗らか　満璃
補陀落を花の都にふと重ね　光明
スカイツリーを包む淡雪　裕子
令和四年七月二十四日　満尾　渭東コミセン

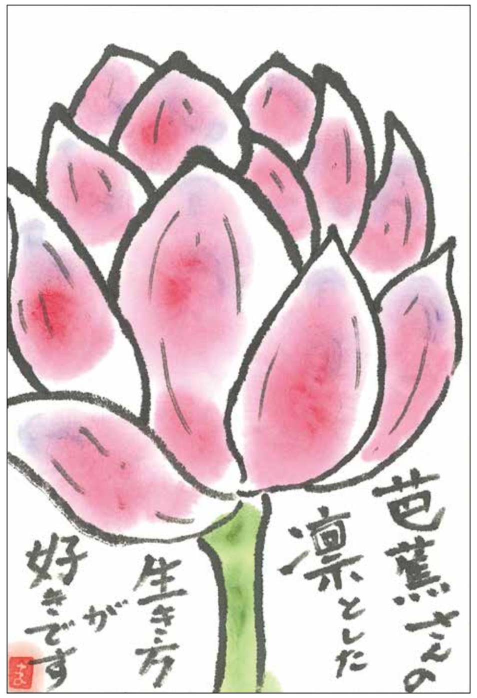
テーマの部　特選

テーマ：「晴」

▼片山由美子　選
冬晴やみな丸顔の一家族　須坂市　宮部　高典
駅前に花売る車夕立晴　中央区　衣川　由美

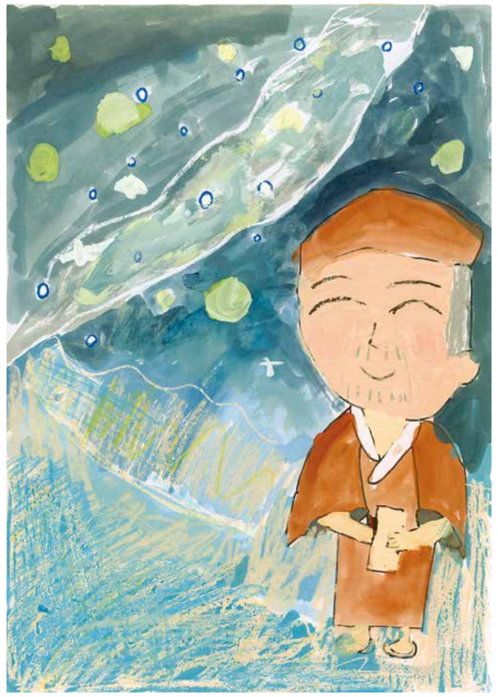
絵手紙　特選

滑川市　石尾　真希子


芭蕉さんの
凛とした
生き方が
好きです

ポスター原画　最優秀

上野東小学校四年　東　日夏



児童・生徒の部　特選

【保育所（園）・幼稚園・小学校一～三年】

▼佐々木経子・下村哲朗・土井陽代・中西紀歩・福森志津子　共選（五十音順）

とどくかなそらにてをやるしゃぼんだま　睦保育園　福森希桜
くさむらにほたるのおしりかくれてる　三田保育園　勝谷凜翔
うみのなかもぐってみたらかにはっけん　中瀬城東保育園　タパ　ミサン
あおぞらにまけないあおのあさがおが　上野東小学校一年　川口心乃葉
めだかさんぼくはがっこうやすみだよ　上野西小学校一年　飯澤倖央
すなはまにあしあとのこるうみがめさん　府中小学校一年　栗林大樹
みちじおにのみこまれそうしおひがり　上野東小学校二年　森岡奈穂
はんかちであにとオバケになりきった　上野西小学校二年　稲濱優仁
さわれないざりがに友とゆずり合い　上野西小学校二年　花谷奏空
うずしおにすいこまれそう手すりもつ　府中小学校三年　稲岡明穂
夏空へ空中さんぽゴンドラで　友生小学校三年　要　謙蔵
たきつぼに一歩近づき風が来る　京都市立紫明小学校三年　恒藤灯里

【小学校四～六年】

▼岡島千秋・西村八洲子・松村咲子・森岡秀美・山村勝子　共選

雷鳴や毛筆持つ手震えてる　上野東小学校四年　久田健人
真夏日やほぼ赤色の日本地図　上野北小学校四年　田中詩乃
木のえだをだきしめているせみのから　友生小学校四年　本城皆幸
夕涼みみの虫あんの丸い石　上野東小学校五年　福森美陽
リフティング夢中になって秋夕焼　上野東小学校五年　西山誠剛
とうろうをはまべに運び夏おしむ　西柘植小学校五年　中澤実佑
夏の雲めがけて打つぞホームラン　上野西小学校六年　南野零偉
大青ね始発電車の汽笛鳴る　柘植小学校六年　愛川遥希
ディーゼル車青田の土手を走り過ぐ　西柘植小学校六年　山本聡介

【中学校】

▼坂石佳音・島井節・服部登紀子・東構東子・福山良子　共選（五十音順）

涼をとる父と並びて滝の前　緑ヶ丘中学校一年　前澤赳
サングラス反射し見える僕の街　上野南中学校一年　廣岡蓮斗
はじけたよともだちの笑みと水ふうせん　緑ヶ丘中学校一年　森井柚鈴菜
合奏中休符のたびにせみの声　緑ヶ丘中学校二年　岩井くるみ
いつの間に家族増えてるヤモリかな　甲賀市　MIHO美学院中等教育学校二年　佐藤くらら
シャトルランの記録更新若葉風　古賀市　古賀東中学校二年　濵﨑聖
苧環や白線をふむストローク　緑ヶ丘中学校三年　岡田悠汰
ウクレレの初セッションはひぐらしと　青山中学校三年　北村結菜
風穴に吹く涼風とひびく声　崇広中学校三年　前田渓渡

【高等学校】

▼坂石佳音・島井節・服部登紀子・東構東子・福山良子　共選（五十音順）

逆光の俳聖殿へ秋の蝶　四日市市　四日市高等学校二年　粂内瑞生
数学の問二が解けず五月闇　三重県　紀南高等学校三年　﨑上野和音
雲の峰崩し現る飛行船　名古屋市　旭丘高等学校三年　渡邉美愛

一般の部　入選

※市内在住の人のみ掲載しています。

▼稲畑廣太郎　選

遠き日の下校の恋や月見草　永井二紗子
畑仕事顔をあげれば暮早し　増井和子
あの頃の香水の瓶そつと開け　池本準一
星まつり銀河鉄道縄電車　前出美千子
春の星またたく闇の濡れてをり　東構東子
日の匂ひ残し一村大夕立　平島由季子
山からの風引きつれて蜻蛉くる　福森志津子

▼宇多喜代子　選

園児らの田植へ二百にぎり飯　浜地和恵
見馴れたる伊賀の要の城朧　子日康子
かまど猫居るかも芭蕉生家土間　森中幸枝

▼小川軽舟　選

藁の穂を引き合ふ雀トマト畑　木根徳子
秋深し人恋しさにコンビニへ　森林良子
山の神祀る山路や合歓の花　谷口千代

▼小澤實　選

天平の秘仏ゆるがせ梅雨の雷　永井みよ
豪快に塩まく力士拍手享く　川口登子
青き蕃茄カレーに入る吾がならひ　福山良子
マウンテンバイクの男の子風光る　西田ゆかり

▼櫂未知子　選

名前だけ知る親戚や秋彼岸　田場千種
マネキンの細き指先夏来る　山下文子

▼黒田杏子　選

旅に出て古文書求め夏夜汽車　森井まさゑ

▼坂口緑志　選

梧桐の花に霧とぶ鶴の塚　永井みよ
桃青の墓所にこぼれ花縮砂　福山良子
御開帳待つ堂縁の鉦叩き　三山隆一
伊賀へ入る峠路飾る藤の花　西田尚子
花吹雪ピンクムーンの坂を舞ふ　鈴木明美
蚊遣香蓑虫庵の閑けさに　三浦直美

▼西村和子　選

手繰り寄せひとつは青き烏瓜　上田幸子
夏落葉降るまま積もるまま空家　山村勝子
山の子に海の記憶や貝風鈴　天野理江
門前の轍の堅し冬の朝　加戸典子

▼長谷川櫂　選

湯に入りて毎夜眺める家守かな　藤岡史江
百歳の母に寄り来る蝶一つ　山本正紀

▼星野椿　選

あじさゐに紫色の夕日落つ　東構東子
兼六の雪つりの縄投げ下ろす　森川豊子
稲の花今年かぎりの田を見舞ふ　下村哲朗
浜風に時折歪む花火の輪　藤下恒星
山百合の高さを揺らす風甘し　桑原陽子

▼堀本裕樹　選

片足の飛蝗の明日を思ひけり　森本文子
花鶏来て猿蓑塚のはなやげる　福山良子
ゆるやかに唄ひ茅の輪をくぐりけり　永井みよ
分校の古時計鳴る帰省かな　土井陽代

▼正木ゆう子　選

僻心解く泰山木の白　植田美由喜
いごつそう一本釣りの初鰹　吉輪康一
踏ん張つてくぬぎ落葉の坂下る　中川清子

▼三村純也　選

空いてゐる西日の側の駐車場　西澤与志子
石段のへこみ踏みゆく遍路かな　前出公子

▼宮坂静生　選

出穂間近覚を走る山の水　下村哲朗
ほどきたる祖母の毛糸の紺深し　中森里江
たんぽぽや土橋はどれも名を持たず　箱林のぶ子

▼宮田正和　選

朴開くどの花よりも空近く　桑原智代美
夕燕我を素通りしてゆきぬ　森永康子
隠沼に番ひ鳥ゐる晩夏かな　小川ひとみ
石積みの浦里暮るる蟬時雨　菊本博子
石斛の香をひとしきり称へたる　北田美智代
枇杷熟るる芭蕉生家を灯すかに　小倉秋子
荒南風や特攻碑立つ三角州　福田容子
一掬の水耀やかす新樹光　中出泰衣

▼片山由美子　選

運動会午後から晴といふ予報　森中幸枝
手術待つ骨折の子や梅雨晴間　箱林のぶ子
夕空の晴れて鉄路の月見草　田端昭子
夕立晴れ傘立に傘五六本　桑原智代美

【応募数】

一般の部：８７０８句
テーマの部：１８２６句
児童・生徒の部：２万１６３１句
英語俳句の部：35カ国から１６９０句
連句の部：１５４巻
絵手紙：９１９枚
ポスター原画：８５７枚

【問い合わせ】

○文化振興課
☎22・9621　FAX22・9619
✉bunka@city.iga.lg.jp
○（公財）芭蕉翁顕彰会
☎21・4081　FAX51・6796